



「ねえねえ、やらせてくれない？」

黒ギャルJKが
罰ゲームで適当に選んだ俺とセックスして
その後セフレになって最終的に孕ませちゃうまでの話

「急で悪いんだけどちょっとやらせてくれない？」
「うん?・・・うん!？」



「あーやらせてって言うのはセツク」

「いやそういう事じゃなくて！」

「俺たち話したのも初めてだよな?！」

「友達に1000円借りてたんだけど
今ちよーど金無くてさ
チャラにしてやるから罰ゲームとして
誰かとやってこいって言われてね」

（なんだそりや・・・えっ、でも俺を選ぶって事は）



「○○って一人暮らしなんでしょ？ホテル代も浮くしちょうどいいかなと」

（なんだその理由！）

（・・・）

「助かるよ！じゃあ放課後ねー」

「うん・・・」
OKしちゃった



でもやばいな、ラッキーと思ってあっさりOKしちゃったけど
童貞ってバレたらどうしよう・・・

午後・自宅に到着

「そういえばさーなんとなく童貞っぽいけど童貞？」

「はい・・・」

一瞬でバレた

「いいのいいの♪むしろ初めてもらっちゃっていいの？
くちのテンションだから」



「一応罰ゲームだけどエッチ楽しもうね〜
とりあえずシャワー浴びよっか」

「おーおーど立派なものってんじゃん！すっげー！
こんなの見せられたら我慢できないや
ここで軽く味見させて♡」

んっ♡♡♡



「じゃ口でつけたげる、これエロくて好きなんだよねえ」

(うわっすごお♡アゴ外れそう)

ズロォ〜



「ふう、できたー
ん？痙攣しちゃってるけどもう出そうなの？」

ズ
ビクン

ん
♡

「んー……それじゃあオッパイ使おっかな♪」







（すっげえ量……。これは楽しくなりそう）

「はあ……。気持ちよかった……。」

んう♡

ッポッ

「あれ？疲れちゃった？せっかくこれからベツトで本番が」

「やります！」





「じゃあ私が動くから楽しんでいていいよぉ」

(童貞ちゃんぽも捨てたもんじゃないなあ〜)



(やつぱ♥中で形はつきり分かるくらいデカいんだけど♪)



「あゝ気持ち良かった♡・・・あっ」

ふー♡

♡

めづ

「やばっ、普通に楽しんじやった
証拠写真撮るからもっかい！」

「う、うん」



そのあと彼女は疲れたみたいで…

「久々に運動したから疲れたら代わりに動いて〜」

「えっ、さっき言ったけど俺。。。」

「いいよいいよオナホだと思って

自分が気持ちいいように
適当にやっちゃっていいよ」

（精一杯がんばる！）

「あっ、その間にメールしなきゃ」







「・・・よし、送信！ミッションコンプリート！あれ？どうしたの？」

「なんでもないっす・・・」

「さて、まだゴムあるし今日は〇〇が満足するまで付きあっちゃうよぉ」

「ほ、ほんと！？今度はがんばるよ！」
「うん？おう！よくわかんないけど頑張れ！」





(・・・体力ありすぎい・・・ぐへえ)

「あの・・・大丈夫？」

「う、うん・・・まあ・・・まあまあ良かったよ・・・」

ムクムク

ゼエ

ゼエ

「ほんとー！ありがとうー！」

「はは・・・」

(〇〇も嬉しそうだからまあいいか

もうやる事もないだろうがいい思い出に・・・)

ムク

数日後

（……やっべえ、また○○とやりたい）



（あれから○○のチンポが恋しくて仕方ない
ハメてほしいすごくハメてほしい）

(言おっかな？言ったらやってくれるかな
でも何か理由がないとさすがに気まずいなあ・・・
うー・・・でもなあ)



(・・・だめだ、もうがまんできない！)

「・・・あのさ」
「うん？なに？」



「ちよっといいかな・・・」

「ここまで来たらいいだる、脱がすよ」
「えっ！？なにになに」

「隠したって駄目だぞ移動中にこっちはちゃんと気づいて……おっ♪」
「ちよ、脱げ……あっ」

おー♡
ドキ

ドキ

「あはっ、やっぱり期待してたんじゃないん
それじゃあいただきまーす♡」







「あいかわらずスゴイ量と濃さだねえ
やっぱこのちんぽすごい」

「ねえねえ♥もつとしょ?」



ふー
ー
♥

ふー
ー
♥

ん
ん
ん

ん
ん
♥

ん

「今日は大丈夫な日だから生でいいよ♡」

「遠慮なくやっちゃって〜」

7270♡



(生ちんぽきたあ~~~~~♡)

「あつ、さつきも言っただけど今日は大丈夫な目だから
中で大丈夫・・・全部中に吐き出しちゃって、大丈夫だから」







ガッガッ
〜

トク
〜

はぁ〜
♡

ピクッ
はぁ〜
♡

ガッ
〜

「あはぁ。。。ちよーきもちいい。。。♡」

ゴッ
〜
♡

ゴッ
〜

「はあ最高だった・・・あっ」

（このあとの事も考えてなかった、どうやって言い訳しよう・・・）

「やっぱりあれだよな」

「？」

「また罰ゲームなんだよね」

「・・・」

「・・・そ・・・そうなんだよ！」

「やっぱりそうか！俺で良ければいつでもいいよ
へたくそだけどがんばるから」

「お、おう」

（何かよくわかんないけど何だか良い口実ができた！）



あれから罰ゲームって事で何度もエッチしてる
誘う口実できてよかった

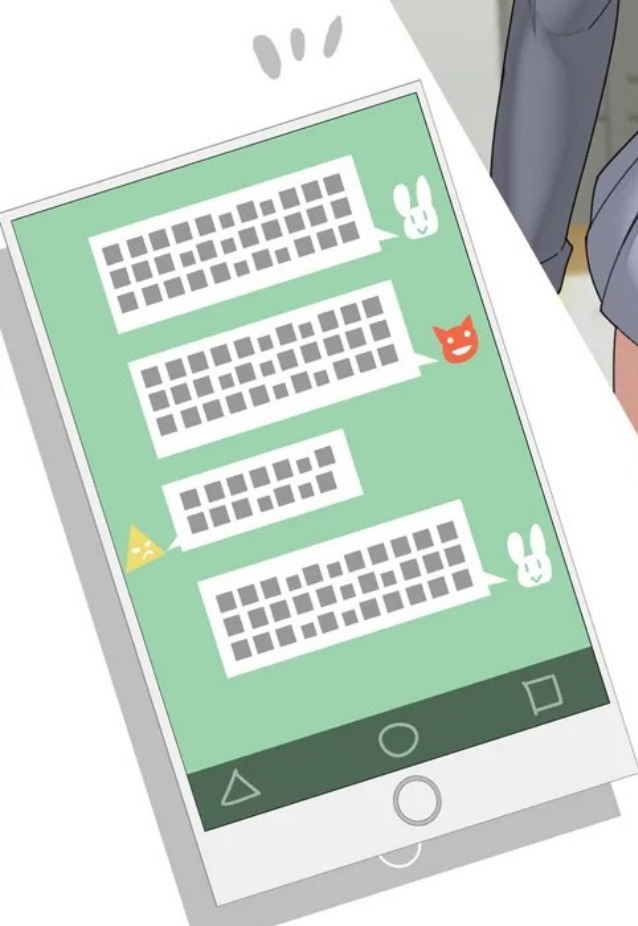


でもあいつらにはバレないようにしなきゃなあ
万が一バレたら絶対バカにされるもん

ピーコーン

「ん？メッセージ？」

『罰ゲームじゃないってばらしちゃおっかな☆』
『まさかバレてないと思った?』
「・・・ええっ!?!」
バレてた・・・



『あのですね・・・今度メシ奢るから黙ってて?』
『ラッキー♪さっきのは冗談だったのに悪いね!』
ぐぬぬ

『つうかさー煽り抜きにして割と悪くない相手じゃね?』
『んじゃがんばって〜』

「ふう、好き勝手言いやがって・・・」

でも言われてみれば○○はどう思ってたのかな?
人に言われると気になってくる・・・
まあそれはそのうちでいいか



「・・・あのさあ、今日も」
「うん、いいよ」

「あつても今日は危ない目だから外ね？」
「わかった」



(・・・っくう、あいつらが変なこと言うから
何か意識しちゃって緊張してきたじゃないか
ただやりたいただけだったのにいゝ)



(下すごく濡れてる・・・ここで一回やってもいいのかな？やるう)





「・・・び、びっくりしたたる！」
「ごめん、たくさん濡れてるからしてもいいのになって」
「ばかばか！続きはベツトでだ！」
「ほんとにごめん」
「んもー！」



そういえば今日危ない目だった
さつき外に出されて思い出したぞ・・・
期待してたせいでお腹の奥がめっちゃじんじりする

(やば・・・デキデキがとまらない・・・)



(今何されても簡単にイっちゃう・・・)





「はぁ・・・はぁ・・・すごく良かったよ」

「うう・・・」

「えっ!どうしたの!」

「ザッ!」



「やだぁ!やだやだ!」

「!?!」

「中にだしてくんなきゃやだぁー!」

「えっ!だって今日は危ない日だって・・・」

「してくんないやだあ!」
「でも……」



「一回なら大丈夫だから、ねっ!ねっ!」
「……」







ふああ・・・危険日中出しすっごい・・・

ドブドブドブドブ

ビュン

グッ

ドク

あー♡

いー♡

ガクガクガクガク



「くはあ……ふう」

「落ち着いた？」

「あー……うん……っていうかさ
・・・お、おねだりした事はくれぐれも
あいつらには絶対言わないで、お願い」

「もちろん」



カーン

うん

「よかった……さて、じゃあもういっかいしよっか♡」

この後ゴム無しで日が暮れるまでやった

あれから経って

「・・・」

「言わなくてもばれちゃったね」

「あんなどばどば中に出すからだぞ・・・」

「ごめん」

「まあ卒業したし別に良いけどさ」



うーん...

「じゃあデキちゃったし一緒に住むか」

「・・・えっ!」



「は？逃げる気？〇〇にも責任あんだぞ」

「いや、そうじゃなくて・・・俺でいいの？」

んー？



「正直イケメンがいいけど我慢するよ」

「あっはい・・・」

「冗談だって」

「まあこの身体でも、まだやっても良いみたいだし
これからやるつか」

「昼間から？」



「じゃあやめるか」
「やります！」

「よしよし♪自分に正直が一番だぞ」

おしまい









































































































